

MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE  
OF KINKI UNIVERSITY

近畿大学農学部紀要

第48号 2015

---

目 次

原 著

飼料魚粉の大豆粕代替とアユの成長とタンパク質，エネルギーおよびリン利用率 -----Amal Biswas、山本慎一、仲和弘、滝井健二	1
変態期のニホンアカガエルにおける蛍光イラストマータグの有効性-II -----小田優花、北川哲郎、宮西萌、中村あづ紗、細谷和海	12
5-アミノレブリン酸による摂食量減少作用 -----安澤俊紀、佐藤隆、土屋京子、小林 ゆき子、 桑波田雅士、泉可也、上嶋繁、木戸康博	17
沖縄県西表島産ゴマフェダイの形態的特徴 -----田中和大、中田依里、清水隆之、前潟光弘、細谷和海	30

ノ ー ト

魚食性コイ科魚類ハスの初期発育特性 -----畑田賢吾、北川哲郎、小田優花、細谷 和海	37
--	----

資 料

近畿大学奈良キャンパスにおけるマイマイガの大発生とその終息 -----澤島拓夫、河内香織	46
環境教育における解剖実験用教材としてのブラックバスの利用 -----井藤大樹、田中和大、小田優花、細谷和海	50
2013年3月に沖縄県八重山諸島で観察された蝶類 -----竹本雅則、藤井太基、千田海帆、菊野佑哉、櫻谷保之、前潟光弘	59

カシノナガキイムシに媒介されるナラ枯れの近畿大学奈良キャンパスにおける発生 -----河内香織、石原まりな、澤島拓夫	67
近畿大学地域環境モニタリングシステム 気象観測データ：2014年 1月 ～ 12月 ----- Jean Tanangonan、宮崎伸夫、奥村博司	72

# MEMOIRS OF THE FACULTY OF AGRICULTURE OF KINKI UNIVERSITY

Volume 46, 2014

## CONTENTS

### Original

<b>Growth and protein, energy and phosphorus utility in ayu, <i>Plecoglossus altivelis</i> when fish meal replaced by soybean meal</b>	
Amal BISWAS, Shinichi YAMAMOTO, Kazuhiro NAKA, Kenji TAKII	-----1
<b>Efficiency of fluorescent elastomer internal tags on the Japanese brown frog, <i>Rana japonica</i>, during metamorphosis – II</b>	
Yuka ODA, Tetsuro KITAGAWA, Moe MIYANISHI, Azusa NAKAMURA Kazumi HOSOYA	----- 12
<b>5-Aminolevulinic acid reduces food intake</b>	
Toshinori YASUZAWA, Takashi SATO, Kyoko TSUCHIYA, Yukiko KOBAYASHI Masashi KUWAHATA, Yoshiya IZUMI, Shigeru UESHIMA, Yasuhiro KIDO	----- 27
<b>Morphological characteristics of the mangrove red snapper, <i>Lutjanus argentimaculatus</i> from Iriomote Island, Okinawa Prefecture, Japan</b>	
Kazuhiro TANAKA, Eri NAKATA, Takayuki SHIMIZU, Mitsuhiro MAEGATA, Kazumi HOSOYA	----- 30

### Note

<b>Initial development of the fish-eating cyprinid, <i>Opsariichthys uncirostris uncirostris</i></b>	
Kengo HATADA, Tetsuro KITAGAWA, Yuka ODA, Kazumi HOSOYA	-----37

### Research Data

<b>The decline of gypsy moth outbreak in Nara campus of Kinki University</b>	
Takuo SAWAHATA, Kaori KOCHI	----- 46
<b>The utilization of the black basses as anatomical experiment materials in environmental education program</b>	
Taiki ITO, Kazuhiro TANAKA, Yuka ODA, Kazumi HOSOYA	----- 50

<b>Butterflies observed in the Yaeyama Islands of Okinawa Prefecture, Japan, in March, 2013</b>	
Masanori TAKEMOTO, Taiki FUJII, Kaiho SENDA, Yuya KIKUNO, Yasuyuki SAKURATANI, Mitsuhiro MAEGATA .....	59
<b>Outbreak of wilt disease vectored by the ambrosia beetle <i>platypus quereivorus</i> in Nara campus of Kinki University</b>	
Kaori KOCHI, Marina ISHIHARA, Takuo SAWAHATA .....	67
<b>Nara Campus Meteorological Database from January to December 2014</b>	
Jean TANANGONAN*, Nobuo MIYAZAKI**, Hiroshi OKUMURA .....	72

## 近畿大学農学部紀要投稿規程

1. 報文の投稿者は、近畿大学農学部教員、大学院生（修了後3年以内）、学部学生（卒業後3年以内）とする。ただし、共著者については、本学部の、技術員、研修員、研究員他を含むが、部外\*の共著者が筆頭者となる報文の投稿については、事前に紀要委員会の承認を得なければならない。また、大学院生、学部学生が投稿する場合には担当教員の承認を必要とする。
2. 報文は、投稿者の原著、ノート、総説、総合論文、調査・資料とする。
3. 原著は、本規程ならびに原稿作成要領に従って作成されたものでなければならない。
4. 報文は、原則 USB メモリーあるいは CD-ROM 入稿とする。
5. 報文は、各学科の紀要委員を経て委員長に送付し、紀要委員会のもとに到着した日を受理の日とする。
6. 原稿は、すべて編集会議において掲載の可否を審議する。
7. 編集会議において、そのまま掲載できないと判断された場合は、その理由をふして著者に訂正を求める。この場合は、訂正原稿が委員長のもとに到着した日を受理の日とする。
8. 紀要委員会は、編集会議の参考に資するため、投稿原稿の査読を本学部に所属する2名以上の教員に依頼する。
9. 報文の掲載は、原則として受理の日順とする。ただし、内容による区分等を必要とする場合等を考慮することがある。その際には、編集会議で掲載順を決定する。
10. 報文の著者および共著者は、当該報文の著作権が近畿大学に帰属すること、および掲載された報文については近畿大学学術情報リポジトリにて公開されることを承諾したうえで投稿しなければならない。  
\*附属農場、水産研究所は、部内に準じるものとする。

附記 平成17年7月改正  
平成25年6月改正  
平成26年6月改正

編 集 委 員 会

八丁 信正  
林 孝洋  
滝井 健二  
伊藤 龍生  
福田 泰久  
田辺 寛之

近畿大学農学部紀要 第48号

平成26年3月31日 発行  
発行者 重岡 成  
編集人 八丁 信正  
発行所 近畿大学農学部  
奈良市中町3327-204